

第四三回 内村鑑三研究会のご案内

日時 二〇二二年九月一九日（月曜日／敬老の日） 一四時～一七時

開催方法 オンライン（ズーム）にて開催（新型コロナウイルス対策他の理由による措置をご理解ください）

発表

内村鑑三にとっての日本

柳父圀近

（東北大学名誉教授・本誌編集委員）

〔発表要旨〕

内村は、日本人の心情においてキリスト教を受け止めようとし、同時に、キリスト教精神に立つて日本を改革しようとした。そこで彼の精神は、JesusとJapanという二つの中心を持つ楕円運動に譬えられている。しかし楕円は二つの円に分離しかねない。彼の精神は、イエスという中心を持つ内円に、同じ中心を持つ日本論という外円が重なっていた（同心円）と言うべきではないだろうか？ が、そう言い切るには、熟考しておくべき課題もある。

内村鑑三から大塚久雄へ

齋藤英里

（武蔵野大学経済学部教授）

〔発表要旨〕

比較経済史研究者として知られた大塚久雄（一九〇七―一九九六）は、若き日に内村鑑三から受洗した数少ない弟子の一人であった。大塚は内村の最晩年の弟子であり、内村と接した期間は短い。だが、大塚によって内村は初めて対象化されるに至った。本報告では、内村から大塚へと継承された思想を検討し、それが形を変えて大塚の学問に反映している点を論じたい。また、内村と大塚を媒介した矢内原忠雄や鈴木俊郎にも言及したい。

司会 千葉 眞（『内村鑑三研究』編集委員、国際基督教大学名誉教授）

資料・通信費 一〇〇〇円

申し込み 九月一〇日までメールにて左記までお申し込みください（氏名、住所、TEL、メールアドレス 不明記）。折り返し当日ログインするURLと資料・通信費振込口座の情報をお送りします。

千葉 眞 メールアドレス chibas@icu.ac.jp

主催 『内村鑑三研究』編集委員会

（岩野祐介、柴田真希都、ゾンターク・ミラ、高木謙次、千葉眞、柳父圀近、ラフェイ・ミシエル、渡部和隆）

問い合わせ 千葉 眞 メールアドレス chibas@icu.ac.jp 電話 042・304・3439
今井館教友会内『内村鑑三研究会』編集委員会 電話 03・6277・5669